

きずな

SENBI

2018年10月

第3003号

会社のブランドカ

代表取締役社長 中田義秀

この度の豪雨災害により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

第38期の上半期が終わりました。

残念ながら売上は達成しながら利益が未達と厳しい実績となりましたが、この現実を踏まえ、下半期は徹底した経費削減と利益確保を行い今期も黒字で終われるよう一層の努力をお願いします。



私は、常に挨拶などで社員の皆様にお話しする機会がある都度、「センビに頼んで良かった。」といわれる会社を目指すことをお伝えしています。

そのことが会社のブランドカアップに繋がるからです。

業界では相変わらず激しい受注競争が万延し、正当な価格では仕事が確保できない現状の中、会社のブランドカを高めることが、この厳しい現況を生き抜くために必要不可欠だと考えています。

何時もお気に入りの同じ店を利用したり、少し高価であっても決まった会社の製品を購入する。これは、「このお店、会社なら必ず満足できるサービスや製品を提供して貰える。」という会社のブランド価値を認めているからに他なりません。

会社はより良いサービスを提供して、付加価値をお客様に認めてもらい、他社との差別化を図ることで「あの会社が提供する商品・サービスなら安心して快適」のイメージがブランドカとなり、他社との競合にも負けない必要とされる会社となるのです。

それに加えて、「地域に根付いた信頼される会社、必要とされる会社」といった会社のイメージが定着すれば、さらにブランドカのアップに繋がってきます。

今後、戦略的方策を計画的に示していきますが、何よりも大切なことは社員の皆様がブランドカの重要性を認識し理解していただくことです。



お客様に「株式会社センビは誠実・確実かつ丁寧な仕事を行う会社」といった姿勢を認めて貰うことができれば、当社のブランドカは確実に高まると確信しています。社員皆様もブランドカアップの戦略の重要性を理解され積極的な取組みをお願いします。



安全衛生推進者



労働安全衛生法や関連法令では、事業主に対して労働者の安全や健康を守るため様々な義務を課されており、これらの義務の一つに「安全衛生推進者」の選任があります。

安全衛生推進者の選任は、アルバイトを含めた従業員数が10人を超える事業所で必要とされており、当社では、本年9月1日付けで本社及びそれぞれの営業所に「安全衛生推進者」を選任しました。



ところで「安全衛生推進者」とは、一体どんな役目の人なのでしょう？

一言で言えば、従業員の安全・健康を確保し、安全衛生水準の向上を目指す役割を担った人です。

そのために主な職務として、①従業員の危険又は健康障害を防止すること。②従業員の安全又は衛生のための教育を実施すること。③健康診断の実施や健康の保持増進を行うこと。④労働災害防止の原因調査や再発防止策対策を実施すること。などがあります。



さらには、職場で働く従業員が不安に感じている部分があれば相談に乗り、解決するための改善策を立てることも重要な役割としてあります。

「安全衛生推進者」になるためにはいくつかの資格要件がありますが、当社では「安全衛生推進者養成講習」を終了した次の社員を本年9月1日付けで選任しています。

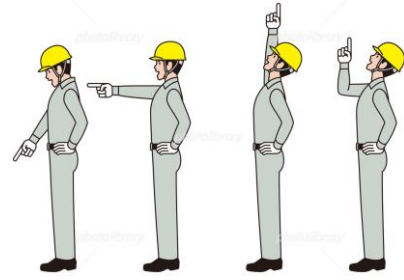
○本	社	総務経理部課長	真宅陽子
○呉	営業所	所長	齊藤敦則
○東山口	営業所	所長	本田健一
○三次	営業所	所長	平田勇
○東広島	営業所	所長代理	大岡章三



既に職場に「安全衛生推進者の責務」を掲示し、次のとおり皆様に周知してあると思いますが、今一度確認をしてみましょう。

《安全衛生推進者の責務》

1 施設、設備等(安全装置、労働衛生関係施設、保護具等を含む。)の点検及び使用状況の確認並びにこれらの結果に基づく必要な措置に関する事。



2 作業環境の点検(作業環境測定を含む。)及び作業方法の点検並びにこれらの結果に基づく必要な措置に関する事。

3 健康診断及び健康の保持増進のための措置に関する事。



4 安全衛生教育に関する事。



5 異常な事態における応急措置に関する事。

6 労働災害の原因の調査及び再発防止対策に関する事。

7 安全衛生情報の収集及び労働災害、疾病・休業等の統計の作成に関する事。



8 関係行政機関に対する安全衛生に係る各種報告、届出等に関する事。

安全衛生推進者は、比較的小規模な事業所において、労働条件、労働環境の衛生的改善と疾病の予防処置等を担当します。したがって、事業場の衛生全般の管理をする「衛生管理者」の業務と作業場所又は作業方法に危険がある場合における応急措置又は適切な防止の措置などを行う「安全管理者」に該当する業務の両方を行います。

従業員皆さんも「安全衛生推進者」とともに、職場の安全・衛生のため、上記の責務を着実に実践しましょう！！

安全+第一 

講演会開催



去る8月24日、「宮島ホテルまこと」においてユーモアコンサルタントの「矢野宗弘氏」をお招きし、「笑い与健康」と題した講演会が開催されました。

矢野氏は、大学在学中「落研」に籍を置かれており、社会人になってからはその経験を活かして各方面で活躍されている方です。

講演は、自分の体験をもとに落語のような軽妙な語り口で途中途中には笑いもありながらも内容は濃く、40分の公演時間はあっという間に過ぎ、聴講者一同我を忘れて講話に耳を傾けていました。

「笑いは健康のバロメーター」、「笑うことで健康の増進が図られる」と講演された「笑い」の必要性を思い起こさせられた講演会でした。



《矢野宗弘氏プロフィール》

1956年生まれ。関西大学法学部卒業後、地元の信用金庫に就職。46歳の時支店長を最後に退職。その後ユーモアコンサルタントのほか、日本笑い学会理事、広島経済大学講師、喜楽亭副席亭などの要職に就かれて活躍し、1999年にはNHKのクローズアップ現代「笑いは万能薬」に出演。三重県名張市在住

編集後記

「我らカーブ」はマジック1が点灯してから少し足踏みしましたが、ついに3連覇を達成。本当に物凄いことです。セリーグでの3連覇は、巨人以外成し得てない偉業です。この偉業で、広島はまた明るい灯と元気を与えてもらいました。



さて、10月になり、やっと厳しい暑さから解放されました。今年の夏は異常な気象状況だったと感じています。

猛暑というより極暑に近い35度を超える日々が続く中、西日本豪雨、北海道胆振東部地震、そして多発する台風など大きな自然災害が相次いで発生し、多くの尊い命が奪われるなど痛ましい痕跡を残しました。



私が幼いころ感じたあの自然は、一体どこに行ったのでしょうか・・・？

現在のようなゲリラ的集中豪雨もなく、決まったように夕方になれば夕立があり、そのお蔭で過ごしやすさを取り戻しました。野菜を始め草花も夕立の適度な水分を得て育っていました。涼を感じるには、風鈴の音(ね)やウチワ、そして打ち水があれば十分でした。

私たちの身の回りには、知らぬ間に便利な日用品が溢れています。その便利さとは裏腹に、昔ながらの四季折々が醸し出す自然や風情が無性に懐かしく、年を重ねるほどにあの時代に戻りたいと願っている自分がいます。

